

映像授業

ブロードバンド予備校

「最後まで諦めず、目標に向かって突き進め！」

(東大理科III類合格 S.S)

ブロードバンド予備校

KLCが導入している映像授業、ブロードバンド予備校の講師は、一流のプロの予備校講師です。常に専門の科目に絞って研究を行い、豊富な受験ノウハウを兼ね備えた言わば「受験のプロフェッショナル」。大学入試は「情報戦」です。受験に有益な情報をいかに得ることができるか、それで合否が決まると言っても過言ではありません。

また、学年・レベル・目的、それぞれにあわせて選べるよう豊富な講座を揃えています。中学の復習からハイレベルな大学受験対策に至るまでの豊富な講座ラインナップには、必要とする講座があるはずで

速習システム



短期間で一気にレベルアップ

ブロードバンド予備校の特長①

「速習システム」は、通常一年かけて学ぶ授業を、短期間で受講してしまうという画期的なプログラム。“基礎を一気に固めたい”、“志望校のレベルに到達したい”、“苦手科目を一からやり直したい”など短期間で実力をアップしたいという生徒に対応するブロードバンドの授業ならではのシステムです。例えば、苦手科目を基礎からやり直すときに、「テーマ別攻略講座」を毎日1講座ずつ受講して頂き、約1ヶ月で年間の授業を受講していただくことができます。自分に合ったカリキュラムで学習できることが、映像授業の最大のメリットです。

3段階学習システム



その日の授業が
その日に身につく

ブロードバンド予備校の特長②

ブロードバンド予備校では、導入講義で教わったことをすぐに自主演習、さらにその演習問題の解説講義を聞いて定着させる「3段階学習システム」で構成されている講座があります。

3段階学習システム®



インプットとアウトプットを1日で完結させてしまうため、予習復習の時間を大幅に短縮でき、自主学習に多くの時間を割くことが出来ます。

君にぴったりの講座



志望校を目指す
キミにあった講座が選べる

ブロードバンド予備校の特長③

ブロードバンド予備校は、志望大学や学力レベルなどを考慮して、多彩な講座を揃えています。目的に合わせた講座ジャンル・科目選択、今の学力と到達したい目標に合わせた授業レベル選択ができます。共通テスト・2次試験対策はもちろんのこと、「看護・医療系対策講座」や「小論文・英検対策講座」も充実しており、様々な受験モデルに対応できます。

得意科目の先取りや、苦手科目の復習を短期間に行うことに適した映像授業をKLCでは、一斉授業や個別指導などその他の講座と併用して、その時の自分にあった学習を行うことができます。

魅力ある講師陣



合格に導く
プロフェッショナルが勢ぞろい

ブロードバンド予備校の特長④

ブロードバンド予備校の講座は、大手予備校で現在、3年以上連続して生徒から高い評価を得ている講師によるものです。映像授業においては、高い評価を得ています。



■ K L Cの映像授業の3つの強み！

① K L Cのライブ授業とハイブリッド学習！

映像授業の最大の強みは、自分のペースで授業を受けることができることにあります。つまり、やる気さえあれば、「超速習」で復習や先取りを行うことができます。K L Cでは、一斉授業や個別指導などのライブ授業と合わせて映像授業を受講できるため、一斉授業を受けながら復習や先取り学習を一定期間に集中させて行うこともできます。

② 時間帯を選んで学習できる！

映像授業は、先生の都合によらないため、受講する時間帯も自由に選択することが出来ます。ただ、いつでも塾に来て学習してもよいとすると、いつでも出来るからと逆に学習がルーズになってしまいがちです。K L Cでは授業時間帯は自由にせず、原則として毎週決まった曜日と時間帯を決めて頂き、個人別カリキュラムで学習します。時間帯は、複数の中から選んで受講頂けます。

③ 居眠りできない！安心の管理体制

授業の動画をひとりで観る映像授業は、居眠りが最大の敵です。どんなに面白い授業だったとしても部活動の後のヘトヘトの状態だと意図せず眠ってしまいます。K L Cの映像授業はkulumo教室で行うため、個人ブースに分かれておらず、常にコーチの目が行き届いています。居眠りはすぐに起こしますし、集中力に欠けている様子ならお声かけします。また、日々の学習のチェックも行います。

■ 映像授業の活用例

(例) Aくん 高校1年生 7月中旬

中学時代は数学を苦手にはしてなかったが、高校進学後に予習の量についていけずアウトプット不足になってしまい成績が下降気味。加えて部活動が忙しくなかなかまとまった時間が取れない。



高校進度対応 基礎数学Ⅰ(前期・全11講)

- ・夏期講習期間を利用して、一斉授業の講座に追加して受講。
- ・問題演習は夏期講習の一斉授業でも行うため、根本からの理解を目指しゼロから導入の基礎数学を選択。
- ・1学期の学習範囲(数と式～2次関数)を夏期に部活が早く終わる11日間を選択して受講。